

ヒアリングやアンケートでいただいたご意見をもとに、既開園区域の改修に関する基本計画をとりまとめました。

- 改修方針**
- ① 野球場、こども広場などの各施設は、現状の機能を維持しつつ、現状の課題を踏まえ更新します。
 - ② 利用者と自転車の交錯があることから、遊び場と自転車の通り抜けを分離した動線計画を検討します。
 - ③ 墳丘斜面の崩壊を防ぐと共に階段の更新など、保全と利用を両立させます。



安全性や回遊性を向上させる園路計画を行います

- ・等々力駅方面と野毛2丁目方面をつなぐゆとりのある通り抜け動線を設定します。
- ・拡張予定地とつながる回遊動線を整備します。



野球場

① 防球ネットの更新による飛球対策

ファールボール等の飛び出し対策として、既存よりも倍以上高い約15mの防球ネットを設置します。

② 硬式野球での練習環境の整備

軟式でのプレーを前提とします。また、小中学生の守備練習と、集球ネットに向かったティー、トスバッティングのみ硬式球の使用を可能とします。

③ 観戦スペースの整備

一塁側と三塁側に、外側から入れるようなフェンスで囲われた観戦スペースを整備します。

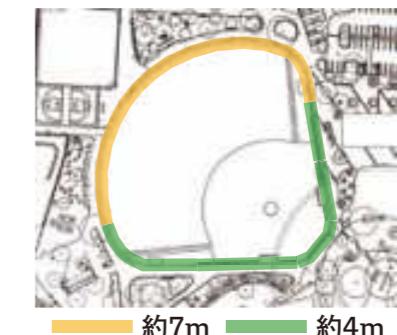
④ 雨水排水の向上

天然芝の張替えや、碎石貯留槽や暗渠排水を設け、排水の向上を図ります。

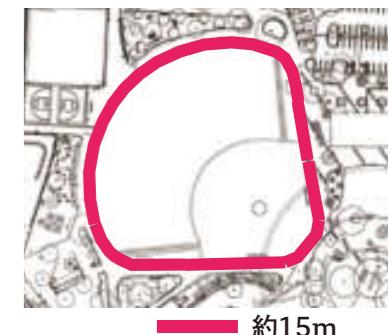
⑤ 野球以外の利用

これまで通り、年末年始に開放を行います。また、年末年始以外の開放については今後検討してきます。

現況の防球ネットの高さ



計画の防球ネットの高さ



観戦スペースのイメージ

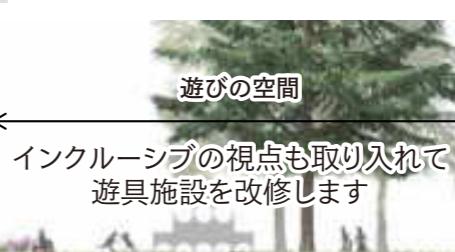
こども広場

① 安全安心に遊べる空間の整備

多様な遊具を配置するとともに、安全に安心して利用できる遊びの空間とします(写真はイメージ)。



インクルーシブの視点も取り入れ、多様な遊具を選定します



自転車動線と遊びのエリアを緩やかに分け、安全・安心に利用できることも広場を整備します。

② 未利用地を活用した整備

未利用地と古墳南側にサクラをはじめとした木々を楽しめる園路と広場を整備します。



③ 古墳を背景とした広がりある遊び空間の創出

高低差を緩やかな丘の形状でつなぎ、古墳を背景とした広がりのある遊びのエリアを創出します。

